

2026年 次世代経営者錬成講座実施要領

株式会社日本経営開発研究所

1. 講座の「ねらい」

今や全世界が実質的に自由主義経済化し、企業間競争は世界規模で行われるようになりました。国内だけに目を向けても、人口減少により、今までと同じやり方をしているだけでは売上が減少することは確実です。一方、少子化の影響を受け人手不足が深刻化するとともに、コストとしての人件費は確実に上昇していきます。更には、AIを中心とした技術革新はビジネスのカタチそのものを変えてきています

このような環境の中で日本企業はどのように戦っていけばよいのでしょうか。そして、経営者はどのようにして自社が存続発展していくための道筋を組み立て、そして社員に示していけばよいのでしょうか？

また、東芝、日産、神戸製鋼、ダイハツと、近年、「一流」と言われていた企業において、不祥事が次々と明るみにでてきています。なぜ、このような事が起きるのでしょうか。そして、経営者はどうすればこのような不祥事が起きない企業風土を作り上げることができるのでしょうか？

企業は社会の公器として、小手先の利益創出手段に頼ることなく、これからの時代に向け飛躍しうる革新的経営をいかに実現するかが問われているのです。そして、この問いに答えうるか否かは、経営の任にあたる経営トップ陣の情熱と能力のいかにかかっていることは言うまでもありません。正に、「一人に以て国は興り、一人に以て国は滅ぶ」のです

そして、経営の「存続」を考えると、最も根本的な課題は次世代の経営幹部を着実に育成していくことにあります

しかし、現実はというと、次世代の経営者候補であるはずの部長クラスに対して、以下のような声が現経営陣や部下の社員から聞こえてきます

- ・課長から部長になり、直接的な部下指導は課長が担う中、自身の役割が見いだせず、単なる中間管理職になってしまっている
- ・革新が求められているにも関わらず、現状延長線上の施策しか打ち出せず、短期業績の進捗管理しかできていない
- ・経営から出される方針には特に反対はしないものの、実際の部門運営に落とし込めていない

この「次世代経営者錬成講座」では、上記認識の下に、異業種の経営者候補人材との磨き合いの中で、

- ・経営人材として不可欠な知見である「企業環境の見方」「発展成長の考え方」「社会の公器としての判断基準のあり方」「経営幹部としての職務観」を自社や自分自身に落とし込んで検討し、
- ・自社・自部門のあり方と現状課題、自らのリーダーとしての強み弱みを明確にし、
- ・経営者候補として、自らの「志」を固めるとともに、「志」実現に向けた具体的道筋を掴む、

ことを目的としています

2. 参加対象 a 現に部長職以上にあり、将来の経営陣として期待されている方またはそれに準ずる方
b 原則として年齢40歳～60歳（45歳～55歳位が一番望ましい）
※但し、以上を充足しなくても、当方で参加資格を認定した方は受け付けます。
3. 日 程 2026年9月4日（金）～8日（火）（別途6カ月間のコーチングセッションを実施）
4. 開催場所

山形県上山市 蔵王坊平高原 ライザ・ウッドイロッジ
<http://www.zaoliza.co.jp/smmr/access/>
5. 定 員 12人
6. 参加料 318,000円（消費税別）
※5日間の集合研修および6カ月間のコーチングセッション、資料代等を含む
7. 参加手続 e-mailにて参加申込人数をご連絡ください〔申込確定締切り：7月31日（金）〕
※その後、参加者リストフォームを送付させていただきます

次世代経営者錬成講座 基本プログラム

集合研修前	事前課題 自社に関する現状分析・価値観に関するアセスメント・自分史作成
--------------	---

	午 前	午 後	夜
第1日 9/4 (金)	昼 集 合	オリエンテーション講義 「企業とは本質的に何か?・ 組織での成果の出し方」 講義 (企業経営のあり方) 「企業の社会的存在意義」	GD (企業経営のあり方) 「自社の社会的存在意義と 自社ならではの強み」
第2日 9/5 (土)	全体討議 (企業経営のあり方) 「自社の社会的存在意義と 自社ならではの強み」 講義・演習 (企業環境の見方) 「これからの企業環境の見方」	講義・演習 (企業経営のあり方) 「企業環境を踏まえた 10年後の経営ビジョン」 講義・演習 (企業経営のあり方) 「システム思考と 良循環ビジネスモデル」	GD (企業経営のあり方) 「自社の経営ビジョンと 良循環ビジネスモデル」
第3日 9/6 (日)	全体討議 (企業経営のあり方) 「各社の経営環境と 良循環ビジネスモデル」 発表・討議・補足講義	講義・演習 (企業経営のあり方) 「経営数字の見方と 『投資』の考え方」 MDP (経営幹部のあり方) 「経営幹部としての 意思決定のあり方」	ワーク (企業経営のあり方) 「10年後を見据えた 我が社の経営方針」
第4日 9/7 (月)	全体討議 (組織運営) 「10年後を見据えた 我が社の経営方針」 講義 (経営幹部のあり方) 「経営幹部としての 心の置き方」	ワーク (経営幹部のあり方) 「経営幹部としての 自分のあり方」 講義 (経営幹部のあり方) 「経営幹部としての 能力向上法」	論文作成 「次世代経営者として 如何に生きるか」 目標設定 「次世代経営者としての 6ヵ月後のありたい姿」
第5日 9/8 (火)	論文発表 (経営幹部のあり方) 質疑・コメント・補足講義 修了講義 各自決意表明・補足講義	昼 解 散	

※MDP (経営能力開発プログラム) は、受講生が「何故そういえるか」を徹底思考し、責任ある見解を導けるように、弊所が創案し 50 年以上の実施経験をもつ教育方式です

(注-1) プログラムの一部を変更する場合がありますので、ご了承下さい

(注-2) 5 日間の集合研修期間中の 1 日の基本的な流れは以下のとおりです

午前 6 時 30 分～ 7 時 30 分 体操・ランニング (初日を除き毎日実施)
 午前 9 時 00 分～12 時 00 分 午前の講義
 午後 1 時 00 分～ 5 時 00 分 午後の講義
 午後 7 時 00 分～ 夜の課業

集合研修後 6 ヶ月間	<u>コーチングセッション</u> 合宿研修で設定した「6 ヶ月後のありたい姿」をテーマに、月 1 回、6 ヶ月間にわたりコーチングセッション（1 回 60 分）を行い、目標達成や行動の習慣化のためのフォローアップを行います。 セッションは原則、 Zoom で行います。 セッション時以外でも、コーチングのテーマに関してはメールによる相談対応を行います。
----------------	---

(注-3) コーチングセッションの日時は、受講生本人と調整して決定します（予定変更の相談には応じています)

以上